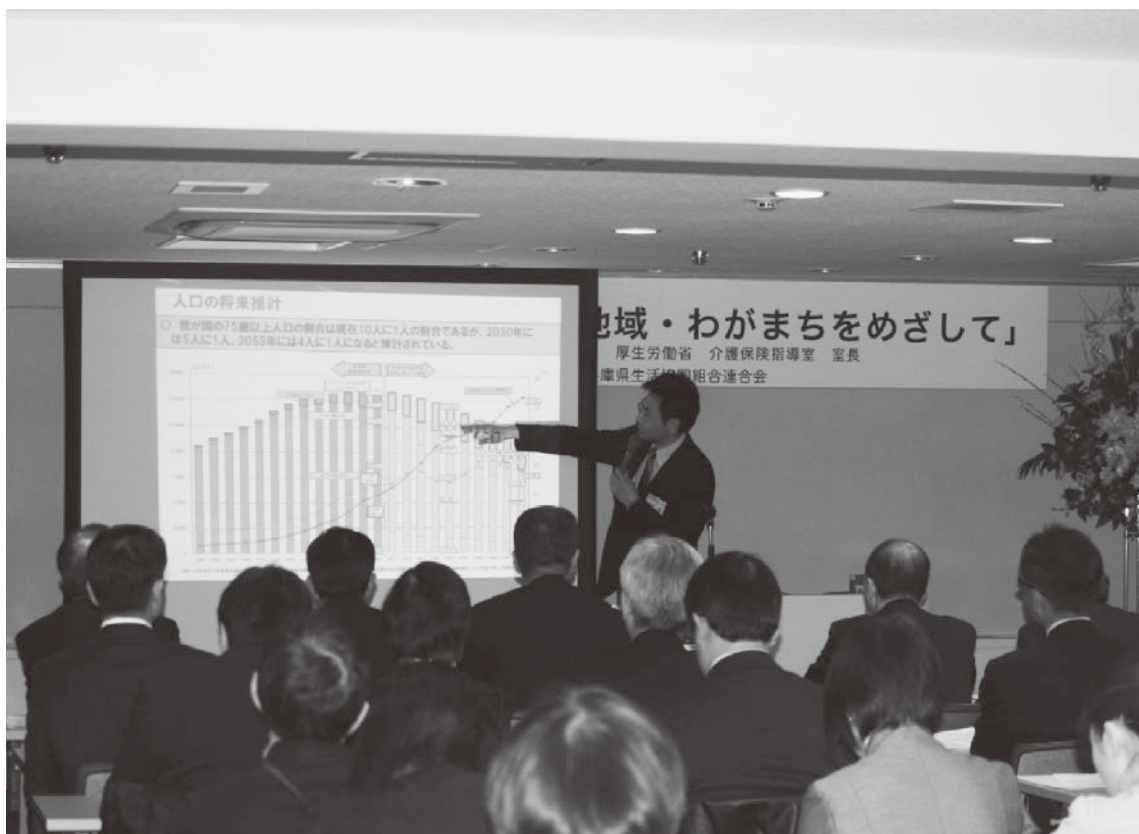




兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2013 **2**



1月5日（土）、兵庫県民会館（神戸市中央区）において、「第8回 新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催。会員生協・団体の役職員、組合員をはじめ、58名が参加しました。（関連ページP.3）



宝塚医療生活協同組合 専務理事

田淵 正俊
(たぶち・まさとし)

創立40周年を迎えて

宝塚医療生活協同組合は、昨年創立40周年を迎えました。

診療所さらに20年遡り、皆保険制度もまだ整備されていない1952年高松診療所が、54年良元診療所が地域の人々の尽力で別々に開設されました。良元診療所の経営母体が、72年12月生協法人としての認可を受け、79年の第7回総代会において、高松診療所の組織的合流を決議し、現在の宝塚医療生協の原型が組織されました。統一時の組合員数は、1755人、出資金962万円でした。現在は、二つの診療所と八つの介護事業所を運営し、組合員数は、11,654人、出資金212,758千円、支部は、11支部に増えてきています。

第一次長期計画（95年～99年）、第二次長期計画（01年～05年）を経て、10年に3つのプロジェクト（「人材確保」「職員育成」「中長期計画」）を発売し、今後の宝塚医療生協の発展計画を検討。翌11年、通常総代会で中長期計画決定を決定するとともに、創立40周年記念準備の年として位置づけ、ネットワーク、介護事業の検討など論議を重ねるとともに、WHO提唱の「高齢者にやさしいまちづくり」にむけてアンケートにも取り組みました。

昨年は、3つの40周年記念事業を成功させるとともに、「まちづくり」「医療生協づくり」を柱に飛躍の契機にしようと取り組んできました。

25年を頂点とする超高齢化社会に対応する定款地域（7市1町）に医療生協のネットワークづくり、事業の展開、施設づくり、認知症対応、健康づくりなどの具体化が焦眉の課題となっています。

今後、ますます独居、高齢者世帯、認知症が増えていきます。高齢者が平和であり、健康であり、安心して暮らせる社会をめざして行かなければなりません。現在の社会の基礎を築いた高齢者を大切にする社会は、子ども、若者、壮年者などすべての人にやさしい社会になります。「高齢者にやさしいまちづくり」は、行政と地域住民組織、宝塚医療生協が協働して取り組む課題です。

40年（診療所開設からは60年）の歴史を振り返ると、先人たちの苦労、貢献に頭が下がるとともに先人の意思や歴史を語り継ぐ責任と医療生協の役割がますます増す中、組合員の要望を実現するため一丸となって「まちづくり・健康づくり・医療生協づくり」に取り組む決意を新たにしています。

CONTENTS

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 2. 想点 3. 新春トップセミナー・賀詞交換会 開催報告 4. 「兵協連だより」通信員・広報担当者研修会のご案内／
兵庫JCC協同組合研究・交流会のご案内 5. 単協通信 生活協同組合コープこうべ／
第8回初級経理学校 開催報告 | <ul style="list-style-type: none"> 6. 協同組合のかけ橋 7. 兵庫県のページ 8. 「ひょうご消費者セミナー2012」のご案内／
県連日誌／編集後記 |
|--|--|

新春トップセミナー・

賀詞交換会を開催

1月5日（土）、兵庫県民会館において今回で8回目の開催となる「新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催しました。当日は、兵庫県からは健康福祉部 山本嘉彦 福祉監をはじめ4名の方々をお迎えしました。また、会員生協の理事長・理事・監事、共栄火災海上保険株式会社神戸支店長をはじめ、のべ58名の参加をいただき、新年の決意を新たにする機会となりました。

新春トップセミナーでは、本田英一 会長理事の開会挨拶に続き、兵庫県健康福祉部 福祉監 山本嘉彦 様よりご挨拶をいただきました。その後、厚生労働省 介護保険指導室 室長 千田透氏を講師に迎え「孤立を生まない地域・わがまちをめざして」と題して講演をいただきました。「孤立を生まない地域をめざすため、行政と連携しながら、地域住民が支えあう互助共助の仕組みを再構築することが生協の存在意義を明確にする」と話され、会場ではメモを取りながら熱心に聞き入る参加者の姿が見られました。

その後、開催された賀詞交換会には、兵庫県の消費者行政のご担当の方々にもご参加いただき、本田英一 会長理事の挨拶に続き、ご来賓を代表して兵庫県知事 井戸敏三 様から「協同組合こそが、これからの組織の在り方をモデル化していると考えます。それぞれの役割を果たすという日々の活動が、新しいモデルを提案していくことになる」とご挨拶いただきました。また引き続き、井戸知事 様の乾杯のご発声では、今年の活動への期待のエールとして新春にふさわしい和歌をお詠みになり、賑やかに会がスタートしました。日頃からお世話になっている行政の皆様と会員生協・団体の皆様、それぞれに賀詞交換を通じて活発な交流を行い、年頭を飾るにふさわしい賀詞交換会となりました。



賀詞交換会にてご挨拶をされる 井戸敏三 兵庫県知事



ご講演をされる 厚生労働省 千田透 氏



ご挨拶をされる兵庫県 山本 福祉監



開会挨拶をする 兵庫県生協連 本田英一 会長

2012年度『兵協連だより』通信員・広報担当者 研修会

日 時：3月21日（木） 14時30分～16時30分
場 所：兵庫県民会館 3階「302」

お申し込みは
先着順 20名

内 容：「効果的なキャッチコピーやタイトルのつけ方」
「デジタル時代の新聞編集について」

講 師：朝日新聞 大阪本社 鈴木 史^{ふみと}氏（編集センター 次長）

多くの人に読まれたい広報物…「キャッチコピー」や「タイトル」に悩んだことはありませんか？
“編集者生活20年”の鈴木氏から、実務に生かせるポイントについてアドバイスいただきます。

参加対象：会員生協『兵協連だより』通信員および広報担当者

一部内容が変更になる場合があります

お申し込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会（担当：中尾） TEL：078-391-8634

兵庫JCC協同組合研究・交流会

～魚のまち明石で、見て・知って・食べて「さかな」を考えよう～

兵庫JCCとは？

兵庫県の生協・農協・漁協・森林組合で構成する組織。兵庫JCCでは、協同組合間交流を通じて協同組合運動相互の連携をはかり、よりよい社会づくりを目指しています。

兵庫JCC研究交流会について

兵庫JCCでは協同組合研究・交流会を2008年より実施しています。本年度は、魚のまち明石で、JF兵庫漁連 シートクラブ料理教室をメインとし、生産者・漁業関係者を交えて研究交流会を行います。「知って、食べる」を合言葉とするシートクラブで、一緒におさかなについて学びませんか？

●日時：2013年3月9日（土）10：00～15：30

●場所：兵庫県水産会館4階 調理実習室・休憩室

●内容：▶ シートクラブの料理教室

【Menu(予定)】いかなご釘煮・カキご飯・明石だごサラダ・お味噌汁 etc

★魚のさばき方講習も行います。

▶ 兵庫の漁業の話

▶ 生産者と消費者の意見交換会

ひょうごの春告魚♪
いかなごの釘煮も
つくります★

★当日は、エプロン・ハンドタオル・
筆記用具をご持参ください。

●お申し込み・お問い合わせ
兵庫県生活協同組合連合会まで
お電話でお申し込みください。
(電話：078-391-8634)

●参加費：500円（定員30人）（お早めにお申し込みください）

●締 切：2013年2月28日（木）

*定員になり次第締め切ります。

●主催/兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）

ひょうごのお魚ファンクラブ
SEAT CLUB

ネットスーパーの実験がスタート

1月15日(火)、「コープこうべネットスーパー」の配達が始まりました。配達に先立ち、記者会見を行いました。新聞社やテレビ局など14社から取材を受けました。初日となったこの日の受注軒数は、受け入れ可能な最高値となり、順調な滑り出し。受注した商品は、店舗の部門担当者がピックアップ。商品を積み込んだトラックを、多くの関係者が送り出しました。



「コープこうべネットスーパー」は、店舗で取り扱う野菜や精肉、鮮魚などの生鮮食品や日用品など約3000品の中から、パン、コンヤスマートフォン、タブレット端末で注文していただく、



配達するというサービスです。配達エリアはコープ西神南の周辺5km(6km圏内の指定地域。朝9時半までに受け付けたものは12時～15時に、12時までに受け付けたものは15時～18時にお届けします。当面は一日あたり60件の受注軒数、3月末までに1、500人の登録会員数をめざします。

(通信員 榎原晶子)

2012年度「兵庫県生協連・第8回初級経理学校」を開催



講義をされる三宅充氏

今年で8回目となる経理学校は、会員生協の経理担当者の人材育成をめぐり、生協の経理実務を基礎から学ぶことを目的に行われています。今回もMMコンサルティング・三宅充氏を講師に迎え1月17日(木)～18日(金)、1月22日(火)～24日(木)の延べ5日間の講義に、7会員生協と1関連会社、計9名が受講しました。

現在の経理実務はパソコン等の導入で迅速に処理されるようになりましたが、決算の仕組みはわかりにくくなっています。5日間にわたる講義では、日本生協連発行『入門 生協の経理実務～伝票式会計～』をテキストに、生協簿記を基礎知識から学びました。取引や仕訳の仕組みを理解して試算表と精算表を作成し、最終的には決算書類である貸借対照表・損益計算書の作成が出来るようになることが目標です。講義は、実際に仕訳伝票を使用しながら演習問題などを繰り返し、時間をかけて丁寧に進められました。講義を熱心に聞き入り、演習問題に集中して取り組む姿が見られたほか、受講生が互いに教え合い理解を深める場面もありました。そして、最終日の講義終了後には、兵庫県生協連・三宅専務理事から「第8回初級経理学校修了証」が受講者一人ひとりに手渡され、拍手のなか全員が無事に修了証書を受け取りました。

受講者からは、「毎日の業務で形式的にやっていることの根拠・理由・意味を把握できました」「日頃の業務は作業として行っていますが、「基礎知識」が全くなかったため、なんのためにやっているのかわからない状態でしたが、自分のやっていることの意味や上司が説明してくれる言葉を理解することができました」などの感想が寄せられ、数字と仲良くなり、経理実務についての第一歩を刻みました。



JF 兵庫県漁業協同組合連合会

第1回乾のり入札会を開催



JF兵庫漁連は、今漁期の第1回乾のり入札会を12月17日（月）JF兵庫漁連のり流通センター（加古郡播磨町）で開催し、集まった多くの人々で会場は熱気に包まれました。この日“兵庫のり”を求めて集まった商社は全国から46社（約100人）で、500箱を超える見本のノリを手にとり、次々に品定めをしていきました。

共販枚数は、高水温の影響で出遅れた前年に比べ約2,960万枚増の4,155万枚。JF兵庫漁連では「今年の水温降下は順調であったが、摘採の時点で風が強吹き、今回は予想枚数を下回る結果となった。現在は順調に進んでおり今後期待したい」としています。

初共販の挨拶で、JF兵庫漁連 突々 淳参事が「生産者から良い状況であると聞いており、次回は1億枚を超える上場を見込んでいる。現在、ノリ漁場を良くするための取組みとして、新しい瀬戸内海再生法の制定運動を行っており、漁場再生に努めていく」とし、また、兵庫海苔入札指定商組合 松谷 晃理事長（松谷海苔株式会社）は「業界は厳しい状況だが、ノリという財産が我々にはある。その価値観を高めていく努力が今後求められている。生産者には今後も高品質のノリ生産をお願いしたい」とされ、本県のノリ養殖に期待を寄せられました。

今漁期の入札会は13回開催され、最終共販日は5月8日（水）となります。



早朝から多くの方が詰めかけました



松谷理事長の挨拶がありました

JA グループ兵庫

400人の園児が集い「よいしょ！」の掛け声響く／園児を招待し餅つき大会を開催

JA丹波ひかみは昨年12月7日、市内の17保育園・認定こども園の4歳児、約400人を招待し「平成24年度 園児招待もちつき大会」を行いました。この餅つき大会は、同JAが食農教育活動の一環として、毎年この時期に実施しているものです。

参加した園児は、JA職員から朝ごはんを食べることの大切さ、お米のことなどについて話を聞いた後、園ごとに分かれて臼ときねを使った昔からの餅つきに挑戦しました。

きねでつく度に、餅米が餅になっていく様子を不思議そうに見つめていた園児たちは、早く自分達でつくたくて仕方ない様子でした。JA職員からきねを渡されると、まわりの園児たちの「よいしょ！よいしょ！」と元気な声援を受け、順番に並んでJA職員と一緒につきました。

できあがった餅は、きな粉をまぶしてその場で食べました。「とってもおいしい！」「3個も食べた」などと園児たちは笑みを浮かべて、つきたての餅の味を楽しみました。

また、3歳児以下のクラス用にお土産の餅もつき、園児らは1時間半の間におよそ100キロのもちをつきあげました。JA丹波ひかみでは、将来を担う子どもたちが、餅つきを通じて食や農業への関心を持つよう、今後もこの餅つき大会を継続していきたいと考えています。



駐車場いっぱいに広がって開催した餅つき大会



JA職員と一緒に餅つきを楽しむ園児



最近の消費生活相談事例

仏像の電話勧誘販売にご注意

事例

「仏像を送る」という電話があった。全く身に覚えがなく「仏像など頼んでいない」と言ったが、「以前にカタログを送った。すでに仏像も発送した」と電話を切られてしまった。どうしたらよいか。

【アドバイス】

契約とは、双方の合意があって成立するものです。事例では仏像を「買います」という意思表示をしておらず、契約は成立していません。宅配便等で仏像が届いても受け取りを拒否しましょう。

仏像の電話勧誘販売を巡っては、最近、新たな手口が問題になっています。その手口は、まず仏具店Aからパンフレットが送られます。後日、別の買取事業者Bから「パンフレットにある仏像を高額で買い取る」という電話があります。さらに、その数日後、公的機関を名乗る団体Cから「最近、高額な仏像を売りつける悪質商法が流行している。十分ご注意下さい。しかし、仏具店Aも買取事業者Bも優良企業だから仏像を買っても安心だ」というものです。

これは、仏具店A、買取事業者B、公的機関を名乗る団体Cがそれぞれ役割を演じ、消費者に利益をもたらすと信じ込ませる劇場型勧誘と呼ばれるものです。このような勧誘の電話がありましたら、きっぱりと断りましょう。

もし、電話勧誘販売で断りきれずに購入した場合、法定書面が交付されてから8日間であればクーリング・オフができます。法定書面が交付されない場合や「クーリング・オフできない」と告げられて契約した場合には、クーリング・オフができる旨の書面を交付されてから8日間を経過するまではクーリング・オフができます。

不安に思うことがあれば、最寄りの消費生活センターにご相談ください。

(兵庫県生活科学総合センター)

MOVE

2012年度ひょうご消費者セミナー

～ 消費者はもう泣き寝入りせえへんで～

- 消費者団体出身の阿南久さんが消費者庁長官に就任。消費者庁の現状と今後の課題、消費者団体（生協）へ期待することをお話しいたします。
- 「集団的消費者被害救済制度」について、まずその法案の中身をみなさんに知っていただき、消費者にとってより使いやすい制度にするため、寸劇とパネルディスカッションで問題点と課題を明らかにしていきます。



◆と き：2013年3月12日(火) 午後1時～3時30分

◆ところ：兵庫県民会館11Fパルテホール

神戸市中央区下山手通4-16-3 078-321-2131

(JR・阪神 元町駅より徒歩10分、地下鉄県庁前すぐ)

◆内容

〈第1部〉

講演：「消費者庁の現状と今後の課題」 講師：消費者庁長官 あなん ひさ 阿南 久さん

〈第2部〉

テーマ：「集団的消費者被害救済制度について～消費者はもう泣き寝入りせえへんで～」

寸劇：大阪大学学生劇団「ちゃうかちゃうん」

パネルディスカッション：行政、学生、ひょうご消費者ネット（適格消費者団体）がパネリスト、新制度について事例を交えてわかりやすく説明します。

◆参加費：無料（定員150人。お早めにお申し込みください）

◆締切：2月28日(木) ※定員になり次第締め切ります

◆申し込み方法：兵庫県生活協同組合連合会までお電話でお申し込みください

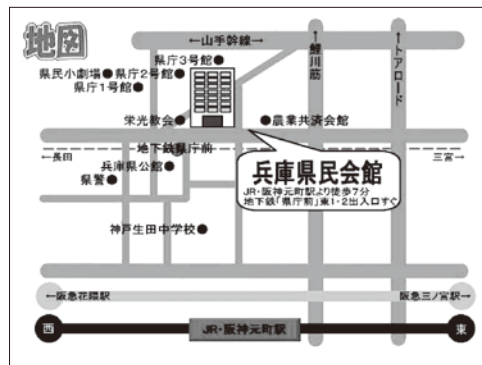
(電話：078-391-8634)

◆主催：コープこうべ、兵庫県生活協同組合連合会、

ひょうご消費者ネット、

消費者支援機構関西

◆後援：兵庫県・神戸市



編集後記

我が家の2月の恒例行事のひとつ「豆まき」。今年の恵方・南南東へむかって巻き寿司をガブツと食べ、家の周りに元気よく！豆をまき、歳の数だけ豆を食べる・・・のも、年々たいへん(?)になってきました。それは、夜に豆を食べる胃にもたれるから？食べる豆の数が多すぎるから？・・・いずれの理由かは、ご想像にお任せします。☆統いての行事は、「パレンタイン」。チョコプレートだけでなく、ハート型のおせんべいやかまぼこ、はたまたハート型豆腐まで登場して、パレンタイン商戦も熱い！ようです。店舗で業務している頃、「オレは、本命チョコしか受け取らん！」と宣言しつつ、たくさんのお(たぶん)義理チョコをもらっていた愉快な上司の思い出も。☆みなさまにも、たくさんのお幸せな「福」や「春」が訪れますように。

(中尾)



県連日誌

- 2月4日(月) 第5回理事会(県民会館 1201)
- 2月6日(水) 兵協連第3回生活問題研究会(県民会館 1102)
- 2月19日(火)・20日(水) 第11回税務・経理講習会(県民会館 304・1101)
- 2月22日(金) 兵協連第3回共済生協部会(県民会館 ばら)